

福島県PTA連合会会報  
第54号\_H13.03.05

# P T A ふくしま

## 第54号

福島県PTA連合会  
編集/調査広報委員会  
印刷/泉印刷所

### うどん打ちに挑戦



[写真提供：喜多方市立第二小学校]

楽しく真剣に取り組む子ども達  
おいしいうどんが出来たことでしょうかね。

### 子どもたちの健やかな 成長を願って



福島県教育庁参事兼生涯学習課長

安 齊 眞 人

夢あふれる二十一世紀が幕を開けました。

新しい世紀になったとはいえ、私たちが抱える課題は多岐にわたり、青少年問題や家庭教育に関する支援、平成十四年度から実施となる完全学校週五日制等、地域社会が一丸となって、それらの環境整備を早急に推進する必要があります。

PTAは、学校・家庭・地域の三者を結ぶ架け橋であると言われますが、子どもたちの生活は、家庭と地域社会と学校を場としておくれるのであり、この三者の連携に、PTAの果たす役割は大きいものがあります。

本課では、「学社連携・融合プロジェクト事業」を推進しております。これは、子どもの生きる力を育む地域の生涯学習社会の形成を目指し、学校・地域の教育機能を総合的に高めることを目的とするものであります。今年度も、一月三十一日に須賀川市文化センターでフォーラムを行い、大きな成

果をあげることができました。

また、「家庭教育トライアングル事業」を通して、インストラクターの養成や支援モデル事業、地域フォーラム等を開催し、家庭教育の充実に努めているところで

さて、二十一世紀の新しいPTAを考えますと期待が大きくふくらみます。従来のような、学校を間接的・物質的にバックアップするという活動や、会員相互の親睦活動や社会的なボランティア活動などとはだいぶ趣を異にした活動になると思われます。学校の教員と連携を保ちながら、学校の教育活動に直接的に関わって学校を支援することになると思います。

もうすでに制度化されている学校評議員制度や特別非常勤講師制度の活用、ボランティアによる学校支援など、PTA活動の一環として学校教育活動に参画し、学校とPTAの新しい関係を構築することに、大きな期待を寄せているところであります。

県P連活動スローガン 語り合い 分かり合い 確かな信頼関係を



# こんなことやっています

## [白河市立白河南部中学校 P T A]

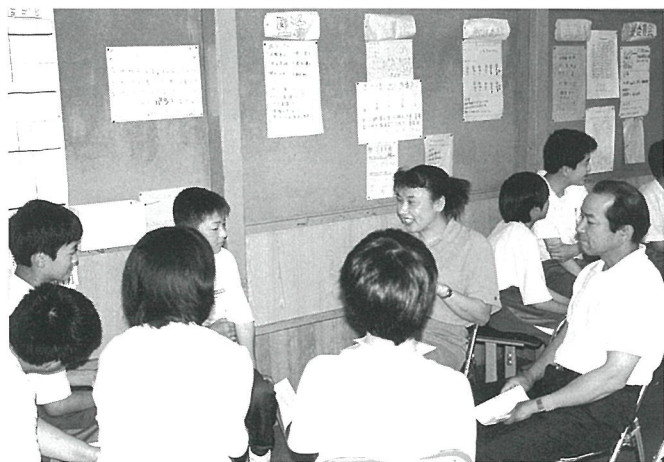
白河市は、あと数キロで栃木県となり、古来より白河の関として有名ですが、その中でも本校は最南端に位置しており、まさに教育文化でのみちのくの玄関口です。

近年、小中高の一貫教育の重要性が見直されていますが、当地区では、幼小中が隣接しており、各学年一クラスという小規模校です。幼稚園から中学卒業まで同じ顔ぶれで育つので、仲

の良さ、協調性では優れています。が、反面刺激に乏しく、競争心はやや欠ける所が欠点かと思えます。折から、校舎の老朽化に伴い、統合中学校建設が具体化しつつあり、より良さ対処の為に、日々努力している所でもあります。

P T A 活動についても、地区全体で取り組むという伝統があり、例えば、視察研修旅行、教育講演会では幼小中合同で、学校林下刈り、枝打ち作業では小中が一緒という具合で、チームワークの良さはトップレベルと自負しています。

更に、生徒も共に参加する行事もあります。親が学校林から切り出した原木に、生徒が菌を植込み収穫された椎茸を学校給食でいただく味は格別なものです。



又、地域の方々の協力により栽培した蕎麦を石臼でひき、手打ちにしてゆで立てを食するというユニークな体験学習もあります。

その他、学年ごとの親子レクリエーション、環境委員会による年二回の早朝清掃作業、厚生委員会担当の文化祭等がありますが、教養委員会が年二回発行する広報紙には、親の考えだけでなく、生徒の活動状況や感想も合せて掲載しています。

数年後に統合中学校となっても小規模校としての良さ伝統はぜひとも継承していきたいと考えているところです。

(会長 金内 秀雄)

# 県P連活動スローガン

## 語り合い 分かり合い 確かな信頼関係を

県P連の活動スローガンを設定して三年目になります。今年度も多くの実践が報告されています。

昨年度に引き続き、特色ある活動をしているP T A等について紹介いたしますので、次年度の活動の参考にさせていただければ幸いです。

# 全員参加型P T Aを目指して

## 「福島市立森合小学校 P T A」

森合小学校は平成十年から「全委員制」を実施しています。

近頃、多くの単Pでは役員の引き受け手が少なく、その選考に大変苦労されていると聞きます。

森合小学校においても同様でありました。以前は年度初めの学級懇談会で学級代表を選び、P T A 総会当日に各部の部長を選ぶ方法が採られてきました。ところがここ数年、懇談会へ出席する会員の数が減ってきたのです。明かに役員拒否の意思の表れと思われました。幾つかの理由が考えられましたが、一番はP T A に対する関心が低くなって来ているからであると思われました。

大きくなった。そして以前からも言われていたことですが「やる人」と「やらない人」がよりハッキリと見えてきた。その結果、不公平感が助長された。というものでした。

以前の制度に戻すべきであるとの意見も根強くありました。理事会ではいつも白熱した討議が繰り返されました。今思えば、再び皆の気持ちに「全委員制」に戻れたのは当時の理事さんの辛抱強い努力があったお陰と思っています。

「全委員制」によってかえって問題を増やすことになったかもしれません。しかし、「全委員制」の実施と定着を目指す過程で、「みんなで考え、そしてみんなでやる」ことを大袈裟に言えば森合小学校全員で実践することが出来たと思っています。

「なんとかしなければ」の思いが「全委員制」をスタートさせました。「全委員制」とは、会員全員が必ずいずれかの部に所属する制度です。実施に当たり予想される問題について検討してみました。そして、出た結論はいろいろ問題が出るであろうが第一に会員の希望を最優先すると言うことでした。そして、実施すると現実には沢山の問題が出てきました。出てきた問題はこうです。―部員が増えたことで部長さんの負担が大

少子化が進むなか必然的にP T A 組織も変化を求められています。そして、森合小学校は「全員参加」型P T A を目指しました。

「全委員制」はその形の一つです。森合小学校P T A は今後あらゆる問題にみんなで考えみんなで解決していきたいと思っています。

(会長 伊藤 俊一)



# 「親子の顔が一致する地域へ」 を目指した親子活動の活性化

## 「郡山市立行健小学校 父母と教師の会」

本校は郡山駅より北へ二キロ、国道四号・二八八号線が通る交通の要衝にあり、児童数八百六十名（二十七学級）創立百二十七年の歴史と伝統をもつ大規模校である。

本校PTAは平成五年度から、早川敬介会長（十一年度・現福島県PTA連合会長）のもと、「親子の顔が一致する地域づくり」をスローガンに、親子活動の活性化やノーマライゼーションの視点からの事業の見直しなど、特色あるPTA活動を推進してきている。

### 一、親子活動の目的

大規模校ゆえに同学年の児童、保護者間の人的結びつきが希薄になりやすいという実態があるため、親子が互いに知り合い共に行動する機会を設けることで、会員相互の連帯感を深め、更に地域における教育力向上に資する。

二、事業推進の経過

平成八年度より学年親子活動のみならず学級親子活動も奨励し、予算措置等を講じてきた。

親子活動の企画運営は年々、創

### 三、親子活動の成果

親子活動の感想を紹介すると、「普段、子供と遊ぶ時間が取れないが、童心にかえて運動できてよかった。」「初めて七宝焼きに挑戦したが、子供と共に力を合わせて製作した一体感がすばらしかった。」「ボーリング大会で、ぼくが投げたあと、スペアを取ってくれたお父さんはとっても頼りになるなあと考えた。」など、楽しい親子ふれあいの日ももたっている。PTA活動をきっかけに親同士も知り合いになり、学校以外の場でも気軽に声をかけ協力し合う雰囲気醸成されつつある。

四、今後の取り組み

次年度も親子活動を通して親子・保護者間の交流を更に深めるとともに、本会事業への会員の積極的な参加意識を高めていきたい。また、本年度、新規事業として

取り組んでいる「あいさつ運動」と連動させながら、諸関係機関・団体と緊密に連携し、PTA活動の側面から地域の教育力向上に寄与していきたい。

（会長 齊藤源治）

## 一人一役の活動を目指して

### 〔熱塩加納村立熱塩小学校PTA〕

熱塩加納村立熱塩小学校は児童数九十八名、会員数七十一名の小規模校です。村は少子化や過疎化の進行により、年々児童、会員の減少が続ぎ、役・委員だけでは十分な活動ができない状態になりました。それにもかかわらず、役割を分担し、地域と共生するPTA本来の活動となつていきます。

今年度は改正した初年度であるため、円滑な運営とは言えませんでしたが、昨年末に行った会員へのアンケート調査では「一人一役」制について、概ね理解が

得られました。今後はより強固な協力や信頼関係の下に、学校、家庭、地域が三位一体となり、さらなる向上を目指したいと思います。

（PTA会長 安達哲弥）



**PTA広報紙・学校新聞  
コンクールに応募ください**

○締め切り 三月末日

○送付先 〒960018648  
福島市柳町4-29  
福島民友新聞社事業本部  
「新聞コンクール係」



各地区だより

『地区の課題』

北会津地区

北会津地区PTA連絡協議会  
会長 高橋 誠



本地区は、会津若松市を囲むように位置する三町一村で構成された、単P数二十校の協議会です。年間事業として、研究大会と母親の集いを四町村持ち回りで開催しています。

スカッションを取り入れるなど形式の見直しも必要ではないかなど、今後検討していきたいと思えます。

研究大会は、全体会と講演会、分科会と全体会という組み合わせで交互に開催しています。課題として、テーマが地域の現状に即しているか、研究協議の視点を絞り込み、パネル・ディ

午後のガーデニング実技研修と、内容的にも年毎に女性の考えを企画の段階から盛り込んで実施しています。課題としては、テーマの設定、小中学校別のグループ分け、時間配分

の工夫など、運営面での検討が必要ではないかと思われます。

さて、本地区は今、大きな問題を抱えています。それは、補助金の問題です。県内十九の郡市連Pの中では唯一かと思えますが、町村会より町村負担金という形で運営補助金を頂いておりましたが、平成十二年度をもって打ち切られることになってしまったのです。町村負担金は、全予算の二十五%にあたり、補助金カットは、地区連P運営上大きな障害となつてしまっています。今後、各単Pに対し、負担金の値上げをお願いしなくてはなりません。児童生徒数の減少傾向にある各単Pの現状を考えると頭の痛い問題です。

岩瀬地区

『活力あるPTAをめざして』

岩瀬地区PTA連合会  
会長 菅野 正夫



岩瀬地区PTA連合会は須賀川市の小・中学校二十一校、鏡石町三校、長沼町三

本校の大きな事業は、毎年八月に実施している地区PTA研究大会である。この大会は、今年度で三十六回目を迎え、須賀川市文化センターを会場として実施している。

校、岩瀬村三校天栄村七校の三十七校の単Pと、地区内六つの県立高校・養護学校計四十三の単Pで組織している。地区P連合会は、毎年、五月に総会を開き、前年度の事業・会計決算報告、当年度の事業計画案・予算案等を審議し、新役員を選出してスタートする。

この研究大会は、毎年参加者が多く、毎回七百名程度参加している。開会行事の後、前年度PTAの振興発展に貢献し、その功顕著な個人や団体を表彰し、講演会で午前の部は終了する。午後は、六つの分科会に分かれて研究協議を行い、閉会行事で終了する。

この研究大会は、地区P連だけでの運営は困難なので、五つの市町村PTA連合会や連絡協議会が輪番で主管PTAとして、受付や来賓接待・分科会の司会・記録等を受け持ち、大会運営に協力してもらっている。午後の六つの分科会の問題提起単Pについては、今までは、六月の理事会を受けて決定していたがそれでは、十分な研究の期間が確保出来ないため、今年度から三か年の問題提起校を決め、どの単Pも三年間で一度は問題提起をするようにした。こうすることによって、事前に、問題提起する分科会が分かり、PTA研究大会がより活性化し、活力あるPTA活動が期待されると考えている。

第24回 子どもの災害事故防止コンクール

第二十四回子ども災害事故防止習字・ポスター展の審査は、去る二月五、六日に行われ、優秀作品が決まりました。今年度は小中学校とも応募数が増えて習字には三十二校増の百六十一校、ポスターは十四校増の七十七校でした。また、審査には次の各氏があたりました。

〔習字〕

- 鈴木 幸子 (元蓬萊小教諭)
- 佐藤 一男 (元清明小教諭)
- 野澤 光男 (元北沢又小校長)
- 〔ポスター〕
- 高荒 敏明 (元余目小校長)

〔小学校〕

- ◆最優秀賞《一年》古川紗也子(二本松南)
- 《二年》佐藤和正(江名)
- 《三年》高橋真末(五箇)
- 《四年》原 碧(謹教)
- 《五年》古田美佳(薫)
- 《六年》仁井田綾子(永盛)
- ◆優秀賞《一年》菜花香織(久之浜)
- 《二》三瓶みか(富岡)
- 《三》吉田美由

習字

謹教 原 碧

さか 花火

ふるかわさやこ

原 碧 (謹教小4年)

ふるかわさやこ (二本松南小1年)

紀(泉)《二年》鬼頭真紀(泉北) 松本かずみ(二本松南) 橋本かずよ(須賀川)

《三年》門間 聡(瀬上) 小川千晶(高田) 穴沢直美(田島) 須江美仁(伊南) 小田翔太(綴)

《四年》檜村千恵(永盛) 矢内貴大(石川) 佐藤法子(田島) 佐藤江里(江名) 柳井 茜(久之浜)

《五年》首藤花央(永盛) 大輪千紘(五箇) 田中愛依(みさか) 菊地郁恵(伊南) 斎藤 淳(南郷)

《六年》井上奈穂(五箇) 鈴木若菜(社川) 伊藤直輝(磐崎) 伊藤方美(永崎) 佐藤由希(江名)

◆優良賞《一年》河合貴志(五箇) 居倉亜実(若松) 東山 斎須皇平(白河)

《二年》遠河三 井間小百合(笹谷)

《三年》遠藤 茜(松長) 後藤貴史(南向台) 佐藤有希恵(門田) 柏倉侑奈(田島)

《三年》星真由美(片平) 森 菜佳(みさか) 江田苑可(高城) 近藤 圭(南郷)

《二》福地友也(綴) 高崎紗弥(久



達南地区

『地域ぐるみの子育てを目指して』

達南PTA連合会

会長 藤原清



達南PTA連合協議会は、川俣町・飯野町の二町十三校で組織されている県内最小の連Pです。例年五月に総会を開き、旧年度の反省と新年度の活動計画のもとに事業を進めております。今年度は、平成十四年度から始まる新指導要領の完全実施を目前にして、各学校が地域の実態に基づき、いかに特色を生かして地域ぐるみの子育てに対応していくか

今年度は、平成十四年度から始まる新指導要領の完全実施を目前にして、各学校が地域の実態に基づき、いかに特色を生かして地域ぐるみの子育てに対応していくか

協議会の後には、福島学院短期大学教授・塚本繁先生より「今語るべき親からのメッセージ」地域ぐるみの子育てを目指して」をテーマに講演が行なわれました。新世紀を拓き担う子供に対する『指標』の柱になる生きる力を考える際には、それが、何のための、誰のための教育なのかという原点に立ち返

って、虚心に肩の力を抜いて考えてみることに。生きる指標に関する指南は、子供の先輩である大人の生きざまが子供への最高の教育になることなど、大切な事柄を改めて学びあうことができました。また、本連合会では、九月には球技大会を、十月には各単P代表役員参加による懇親会を実施し、連P会員相互の親睦を図るとともに更に密なる情報交換を図ってまいりました。組織の小ささを生かし小回りと柔軟さを武器に更にパワーアップを図り、学び合い活動する連Pづくりに励んでまいりたいと思います。

相馬地区

『地区の特色を生かした活動』

相馬地方PTA連絡協議会

会長 林



相馬地方PTA連絡協議会は、六市町村、小中養四十六校で海沿いから山間部までひろがり相馬、原町二市以外四町村は中学校が各一校です。小学校三十二校児童数二百名未満が十六校、PTA会員数は一万二千二百五十名でこの三年間で約千百名減少しています。

本地区のPTA活動は、地域の特色を生かした地域密着型であり、廃品回収や運動会などで地域

ぐるみの支援をいただいております。また数校にみる「和太鼓」特設部は地区内外で演奏され保護者会が大きな役割を果たしています。地域を巻き込んだ活動は、児童生徒や学校への関心を喚起し、子どもたちの健全育成につながるものです。一般家庭を特別会員とし、会費その他で協力をいただき学期ごとの会報で学校行事や子どもたちの様子をお知らせしている単Pもあります。今後の地域PTAとして活動の在り方を示すものではないでしょうか。今年度は相馬地方PTA研究大

会を八月に宮城県境の新地町で開催し、四百名の参加者会員が今後の活動の推進に決意を新たにしました。また個人的には本校の駅伝男子チームが、全国中学校駅伝大会山口大会に県代表として出場、思いで深い一年となりました。相馬地方各市町村連Pとも、教育懇談会の実施や各種団体との連携など様々な取り組みで中心的役割を担い、多大な成果を残しております。地域での情報交換、交流を通して生涯学習の一環として「子育て、親育て」は「自分育て」にほかなりません。会員減少と共にPTA活動は、会報の全戸配布など地域に密着し理解を得ながら実践されるべきだと考えます。

中学校

- ◆最優秀賞(一年)鈴木理恵(須賀川三)
- ◆二年吉田智恵美(白河二)
- ◆三年佐久間美文(小塩江)
- ◆優秀賞(一年)高田佳奈(行健)
- ◆二年車田佳子(鏡石)
- ◆三年金沢美幸(棚倉)
- ◆優良賞(一年)樫村理恵(安積)
- ◆二年佐藤香奈(郡山七)
- ◆三年片桐由絵(安積二)

- ◆二年本名みずほ(喜多方二)
- ◆三年門間 聡(瀬上)
- ◆四年平出真起子(喜多方二)
- ◆五年安斎未希(白河四)
- ◆六年村山由菜(笹谷)
- ◆優秀賞(一年)杉目 優(中村二)
- ◆二年渡辺悟史(鏡石一)
- ◆三年五十嵐至(喜多方二)
- ◆四年重巢愛美(大沼・旭)
- ◆五年木村志穂(中村二)
- ◆六年原三保子(磐崎)
- ◆優良賞(一年)座間名津紀(須賀川一)
- ◆二年山本彩夏(須賀川一)
- ◆三年赤津卓哉(平二)
- ◆四年内海佳奈子(豊川)
- ◆五年脇坂啓夢(永崎)
- ◆六年立川ユカ子(喜多方二)



救急 上田 知恵美

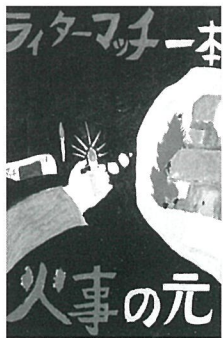
▲吉田知恵美(白河二中2年)

ポスター

- ◆小学校
- ◆最優秀賞(一年)堀江宙史(長沼)



▲過足好美(桜中3年)



▲村山由菜(笹谷小6年)

- ◆中学校
- ◆最優秀賞
- ◆過足 好美(三春・桜 3年)
- ◆優秀賞
- ◆村越 未来(大東 2年)
- ◆優良賞
- ◆佐々木 萌(鏡石 1年)



### 「PTA基金」 ありがとうのじゅんぱんが ありました

この基金募集は、今年度で終了となります。長い間ご協力をいただきありがとうございます。

今年度、三月一日まで事務局に届けられた協力地区・単位PTAなどをお知らせします。

#### 【地区名等】—現金で—

・県P研究大会白河大会時・両沼・北会津・伊達・梁川町・郡山・相馬

#### 【単位PTA】—書き損じはがき等—

・鎌田小・御山小・森合小・佐倉小・清明小・杉妻小・佐倉小・川俣小・富野小・針道小・二本松北小・新殿小・白岩小・平石小・東和中・塩沢小・小山田小・大成小・薫小・東芳小・開成小・大槻小・谷田川小・桑野小・海老根小・行健小・上伊豆葛小・行健中・行徳小・西袋中・西袋二小・仁井田小・大森小(須賀川)・上大越小・白河四小・大屋小・白河中央中・矢祭中・埜中・謹教小・只見小・双葉北小・好間二小・大浦小・草野小・小名浜二小・湯本一・中央台南中・中央台北中・多田野小・平一中・芳賀小・白方小・梁川中・平一小・日和田中・鶴城小・赤井中・永崎小・母畑小・飯館中・富岡一小・野田小・蓬萊東小・二本松一中・穂積小・永井野小・飯野小・鏡石中・常葉中・関本小・山根小・常葉小・西

向小・新鶴小

以上 地区P連等七、単P七十七  
なお、三月末まで受け付けます。

### 伊豆諸島災害義援金 募金活動実施PTA

事務局に連絡のあった単P名をお知らせします。

・塩川中・大槻小・上大越小・片平小・御館小・堂島小・西根中・岩江小・福浦小・上郷小・飯館中・芳賀小・大東小・船引南中・矢吹中・小名浜一小・館岩中・湊中・若宮小・館岩小・昭和中小・野川分校・茂庭中・大久保小・関柴小・駒形小・中野小(郡山)・小名浜一小・中山小幼・阿武隈小・広戸小・四倉小・東芳小・木幡一小・南郷一小・南郷二小・南

郷中・広瀬小・上三宮小・常葉中・中央台南小・塩川小・蓬萊小・大東中・荒海小・南戸沢小・鏡石二小・行健中・福島一中・植田中・郡山一中・喜久田中・郡山六中・福沢小・東館小・野田中・飯坂小(川俣)・只見中・白河五小・岳陽中・白河南部中・福大附属養護・西袋一小・佐原小・桑野小・姥堂小・石神中・熊倉小・小原田小・鶴城小・森合小・行健小・二本松一中・須賀川三中・本宮小・群岡小・片門小・内郷二小・昭和中・白河一小・下川崎小・新鶴中・南戸沢小・相馬養護・小塩江小・永戸小・桜小・磐梯一小・入田付小・二瀬中・大野二小・石川小・藤川小・田沢小・中村一小 以上 九十四単P

#### 有珠山災害義援金募金追加

永田小PTA

## 春の全国交通安全運動

スローガン

あぶないよ よそみ  
おしゃべり ふたりのり

期 間

4月6日(金)～4月15日(日)

重 点

- ・自転車の安全利用の推進
- ・シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

### 東北P・日本Pの動きなど

#### ●東北PTA

連絡協議会が、二月一・二日秋田市において開催され、来年度の行事予定や秋田大会について協議。早川会長・坂上母親代表・小松事務局長が出席。

#### ●日本PTA

東京青山フロラシオンにて、次によって開催された。  
二月十四日―三役会(早川会長)  
同十五日―理事会・常置委員会(同)  
同十六日―常任幹事会(同)  
評議員会(菅野・坂上・阿部の各理事が出席)

### 編集後記

今冬は、何十年ぶりとかの大雪で大変だったかと思えます。雪片づけが、誠に重労働であることを改めて実感したのは小学生ではないと思えます。

さて、今年度は、有珠山噴火に始まる災害の多発や十七才少年による悲惨な事件の続発など暗いニュースが目立ちました。

しかし、オリンピックでの高橋選手や多くの選手の活躍は、私どもの心を明るくし、子どもたちに夢を与えてくれました。

十三年度の本会は、創立五十周年を迎えます。二十一世紀の幕開けと重なった訳ですが、それだけに新しいPTAの在り方を、会員の皆様と本気に語り実践したいものです。

## 安全互助会から

### ◆PTA・学童傷害事故管理台帳の提出について

3月10日までに発生し、しかも、未請求のものです。年度末のご多用のところですが、よろしく願います。

◆新補償保険「学校・PTA活動支援補償制度」の導入について理事会で決定されました。新年度に入って、その概要をお知らせしますのでよろしくご検討ください。

## 福島県PTA連合会

(TEL.024-545-5982 FAX. 同5990)

提携損保 共栄火災海上保険相互会社

〒960-8035 福島市本町5-5 殖銀フコク生命ビル7階  
TEL. 024-523-3507 FAX. 024-523-3509